

未来の学校をいっしょに考えよう！

府中小学校の新築に向けたワークショップ



新しい学校づくり NEWS Vol.2

石岡市では府中小学校の新築に向けた計画を進めています。事前に実施したアンケート結果をもとに、子どもたちの未来を育む「新しい府中小学校」のあり方について、地域の皆様のご意見を反映させることを目的とし、参加者同士の対話による地域参加型のワークショップを開催しています。全2回を予定し、第2回は、第1回で出された意見をもとに新たに提案された計画案を見て、学校を地域交流の場とするための具体的な意見を出し合いました。

全2回ワークショップ開催概要

第1回
7月6日

『こんな場所になってほしい、残してほしいところは？』
新しい小学校に対する希望や想いを話し合いました

今回！

第2回
8月24日

『みんなの想いや意見がかたちになった設計をみてみよう！』
第一回で出た意見を反映した設計計画をみんなで見て感想や意見を出し合います

第1回・第2回のワークショップを通して頂いた声やご意見を参考にさせていただき、より具体的な設計の計画を行っていきます。



第2回ワークショップを開催しました！

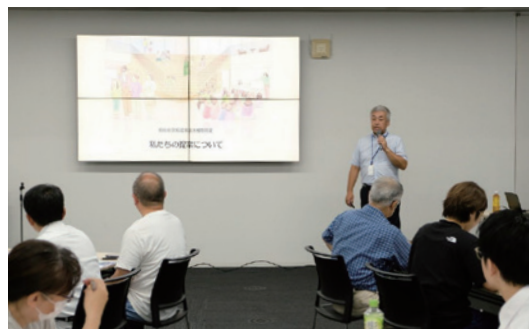
第2回ワークショップでは、新たな提案をもとに、それぞれの学校での思い出を語り合いながら、新しい府中小学校を地域交流の場としても活用できるようにするにはどうしたらいいのか、グループごとに意見を出し合ってもらいました。

ワークショップ
活動の様子





第1回での意見をふまえた計画の提案を行い、参加者からより具体的な新しい意見や疑問等をいただきました。それらの意見に対しての回答も行い、そこからさらなる意見をいただき、計画の精度を一層高めることができました。



Q. トイレは
ウォシュレットがいい
A. 設置する予定です。

Q. 男子トイレを
完全に個室にして
ほしい

A. 頂いたご意見を参考に
費用とのバランスを
考え、市と協議し
皆が安心して利用で
きるトイレを計画
していきます。

Q. 西側、北側から
登校してくる子供たち向けの
校門が欲しい

A. 子供たちが通れる門を
西側に設置し、歩車道
分離した歩行ルート
を計画予定です。

Q. 1階給食室から
低学年教室までの
動線は？

A. 雨風を凌げる
屋根付きの、
半屋内の廊下を通っ
ていただく動線で計画
をしています。

Q. 冬、北側の教室が寒い

A. 断熱の伴う空調設備を
設置予定です。

Q. 遊具はどうなる？

A. 皆様からの声を
参考に、安全性を
第一に学校、市と
協議し計画をして
いきます。

Q. 全方向からの
来校者を
職員室から把握できる？

A. 頂いたご意見を参考に
市と協議し、子ども
たちの安全のため
検討中です。

Q. グラウンドを使わない、
出入りのしやすい駐車場

A. 平常時とイベント時の来校者の
規模や活用できるスペース、
利用のしやすさを複合的に考え
検討を進めていきます

Q. ソーラーパネルは
設置する？

A. 規模と発電効率、
費用対効果を考慮し
つつ、最適な規模で
設置予定です。

Q. 府中公民館でなく、
学校内で PTA 活動をしたい

A. PTA 活動や先生との
連携の図りやすさなども
考え配置等検討を
行っています。

Q. 駐車場周辺の道路を、
雨の日の送迎渋滞対策に
一方通行にしてほしい

A. 校内に送迎用の一方通行の
道路を整備予定です。

Q. 近隣の児童館が現在使えないため、
子育て支援機能が欲しい

A. 現在の利用状況を
ふまえ、基本構想
の中で検討を進めて
いきます。





計画の提案を聞いたうえで、地域にとって府中小はどんな場所になって欲しいのか、「地域みんなで使える小学校」の機能について意見を出し合い、各班ごとに発表を行いました。



【各班から出た意見のまとめ】

① 健康・福祉・施設機能

- ・顔が見える学校
- ・おまつり文化などに触れる機会
- ・地域の団体による花壇の整備
- ・健康遊具
- ・人材バンクとしての機能
- ・元気が一番
- ・放課後に遊べる場所
- ・周りとの関わりが持てる機能・設備
- ・地域の人たちとつながる図書館
- ・DIY が学べるスタジオ
- ・みんなが利用できる音楽スタジオ



② 学習・体験・地域交流

- ・歴史館を作ってほしい
- ・ウォーキングができるゴムマット
- ・経済的な学習ができるスペース
- ・地域の人々が学校に立ち寄れる
- ・餅つき体験イベント
- ・市で行われている母子家庭向け塾を全家庭向けに
- ・子どもたちの学びを発信できる場
- ・地域の人々が歴史を学べる展示スペース
- ・尼寺の復元イメージ研究
- ・子供の習い事で体育館を利用したい
- ・早朝の送迎時、もう少し早くに子供が学校に入れるようにしてほしい

③ 交流・グラウンド活用

交流

- ・入学前の子供や卒業生との交流を増やす機会や場所
- ・運動会などのイベントでつながりを作る
- ・地域の方が気軽に授業支援やボランティアができる仕組み

グラウンドの活用

- ・グラウンドに芝生を植えてほしい
- ・ツリーハウスをシンボルに
- ・外国の方向けの日本語を学べるサロン

参加者のうち多くの方から、学校と地域が気軽に交流できる設備や環境を整えてほしいという声が寄せられました。

◆健康・福祉・施設機能

健康遊具や放課後に子供たちが安心して遊べる場所の整備を望む声が多くあり、学校を福祉や交流の場としても活用したいという意見が多くありました。

◆学習・体験・地域交流

歴史館や子供たちの学びを発信できる場、地域の人々が歴史を学べる展示スペースなど、学びを通しての交流の場を求める意見があがりました。ほかにも、母子家庭向け塾の全家庭向けへの展開や早朝預かりの充実といった学校の利便性の向上を求める声もあがりました。

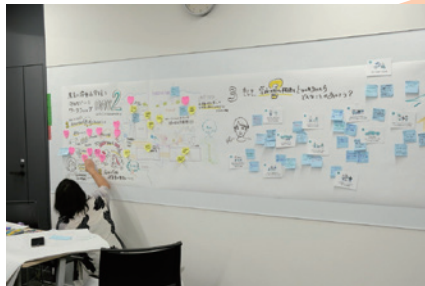
◆交流・グラウンド活用

入学前の子供や卒業生との交流や、地域の方が気軽に授業支援やボランティアができる仕組みを求める声や、グラウンドに人工芝を設けてほしい、ツリーハウスを設置してシンボルにしてほしいといった、グラウンドを利用しやすく立ち入りやすい憩いの場として活用してほしいという意見があがりました。



ワークショップの最後に、グラフィックレコーディングの発表がありました。

今日一日の話し合いの内容や意見が絵や図で視覚的に整理されたことで、分かりやすく振り返ることができました。



今回のワークショップは、第1回に比べて具体的な計画を行うことで、参加者の皆さんからも実際の利用をイメージしたより具体的な声や意見を頂くことができました。「学校の中に、学校以外の機能を入れるとしたら?」という問いからは、自分の生活にどのように関わっていくのか、地域の将来を見据え新しい府中小学校をどのように活用していけるのか考えを深める時間となりました。また他の人の意見を知ることによって新たな気づきが得られる機会になったのではと感じます。第1回、第2回のワークショップを通して、計画者と地域の方々がお互いに顔を合わせ直接意見を交換する場となり、計画者側が気づけなかった声に気づくことができる機会になりました。参加者の皆さんから頂いた声や意見は今後の計画にできる限り反映できるよう努め、地域に愛される府中小学校となるよう役立ててまいります。